

豊北生涯学習センターだより

12月号

センターだよりは、豊北町内自治会回覧・下関市内公民館及び社会教育施設に配布しています。
持ち帰り用は、豊北町内各公民館・豊北生涯学習センター・市内図書館（室）に置いています。
是非、手にとってご覧ください。

ほうほく文化祭



今年もほうほく文化祭が盛大に開催され、小中学生からこども園の子どもたち、そして地域の皆さんの力作が一堂に会しました。

展示された絵画や書道、絵手紙、俳句、短歌、パステル画、陶芸作品からは、それぞれの思いや個性が溢れていきました。

また展示部門の他にも、多彩なステージが行われ、来場者を楽しませました。

来場者からは「地域の皆さんとの温かい気持ちが伝わってくる素敵な文化祭でした」「子どもたちの成長を感じられて感動しました」といった声が聞かれ、大盛況のうちに幕を閉じました。



発行 下関市豊北生涯学習センター

〒 759-5331 山口県下関市豊北町大字神田1199番地1

電話 083-786-0780 FAX 083-786-2654

E-Mail kihhsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp



列車のヘッドマーク・ トレインマーク紙模型展

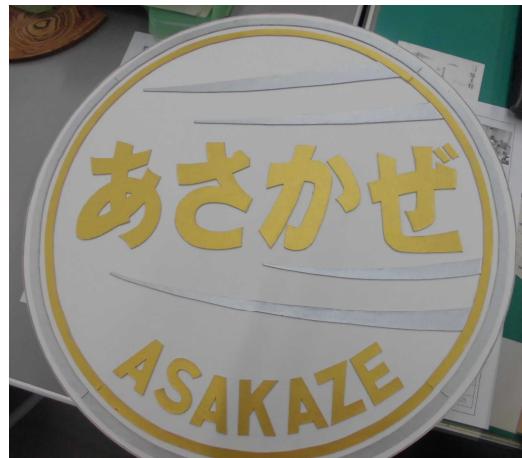
日 時:令和8年1月10日(土)~2月8日(日)

※月曜休館

9時~21時 (日曜日は17時まで)

※夜間の利用がある場合は22時まで

場 所:豊北生涯学習センター



豊北町神田地区在住の森哲也さんが趣味で作成された、列車のヘッドマーク・トレインマーク紙模型を展示いたします。細部までこだわった数々の作品は、往年の列車から最近の列車のヘッドマークが揃います。森さんの列車の解説をご覧になりながら、旅の思い出や車窓から見た景色が蘇る…そんな時間をお過ごしください。

第37回つのしま夕やけマラソン大会を開催しました

10月18日（土）、雨の中、第37回つのしま夕やけマラソンが開催されました。

県内をはじめ全国各地から1,220人の参加申込をいただき、大会当日は暖かい声援の中で1,053人のランナーが完走されました。

本大会の開催にあたり、地元角島地区や神田地区をはじめ、各種団体、ボランティアスタッフの方々など、多くの皆様の多大なるご協力をいただき、大会を無事終えることが出来ました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。来年の大会も今年の反省を活かし、より良い大会になるようにスタッフ一同取り組んで参りますので、ぜひご期待ください。

つのしま夕やけマラソン実行委員会



ほうほく文化祭 入選作品



俳句

選者 久行 保徳先生

一般の部

特選

散る花を乗せて遊具の揺れかすか

秀逸

とんぼうに包囲されたる立ち話

佳作

水戸取れば水はとどろく鰯雲

父よりの時計休まず文化の日

雨空の田耕に歌へ夏燕

古川 裕三

下田 勝代

林 岩雄

岡 昌子

和田 幸子



児童の部

特選

波ゆれて夕焼け道の響灘

秀逸

湖に散つて落ちゆく桜かな

桜の花甘い香りがとんでくる

佳作

行く道にまい散るかれ葉時が経ち

秋の葉は赤色黄色綺麗だな

夏の空手をのばしてもとおいしいな

倉本 煌大

下道 愛結菜

長谷川 千咲

中村 陵桃

中山 夏向

信政 瑛磨



【短歌】

選者

中西 聖子 先生

《一般の部》

特選

五年振りの旧友との集い

寝たきりの夫にもビールを水差しで酌む

佐々木 一洋

秀逸

燕来るまづは古巣の修理から足さるる土の青く光れり

内田 恒生

佳作

差し出されし液体入りの小瓶には先程採られし腎癌細胞

岡寄 信子

天然の生地の手触り愛ほしみブラウスを縫ふ昭和の浴衣

福田 かつ子

博多の夜 小田和正の高き声は吾身を震わす七十八歳

立花 京子

うわばみとなりて飲み込む検査液『憩室』と云う臓器に異変

浜本 直子

塩漬けの桜茶出しておもてなし結納の膳は母の手作り

藤井 良美

【児童の部】

特選

あざやかに光るひまわりは

青空と重なり合つて夏彩るよ

高木 菜々花

初雪で雪だるまつくる楽しいな

うごきだしたらなかよくしよう

清水 藍花

秀逸

立春はまだ寒いのに春なんて

こよみの春はいかれてるだろ

中本 和希

佳作

イルカみたいに空に輝く水飛沫

ぼくもおよごうイルカになつて

山下 幹太

紅葉の葉音を聞きつづしづしつと

踏みしめる足前へ前へと

濱本 愛結華

穀雨の日小さな雨粒霧雨か

穀をうるおす一つの水滴

吉村 玲飛

令和7年度 豊北地区球技大会結果について

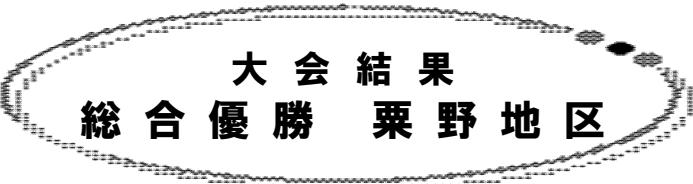
10月5日(日)豊北地区球技大会が開催され、今年も大勢の皆様にご参加いただき無事大会を終えることができました。

大会当日は雨も心配されましたが、絶好のスポーツ日和となり、戦いが熱く盛り上がったことで、スポーツを通じて各地区同士の親睦を図る素晴らしい大会となりました。

選手の皆さん、応援の皆さん、役員の皆さん大変お疲れ様でした。



大会の様子



“社会を明るくする運動” 作文コンテスト入賞者



第75回“社会を明るくする運動”下関市推進委員会作文コンテストが実施され、市内中学生から893作品もの応募があり、厳選なる審査の結果、豊北中学校の生徒が入賞しました。

○ 佳作

「私たちの町をきれいにしよう。」 豊北中学校1年 中村 凜花さん

豊北 歴史ウォーク ~栗野編報告~

豊北郷土文化友の会の主催で栗野を散策する「歴史ウォーク」が14名の参加で10月24日に開催されました。

午前8時に集合、栗野浦の自治会館を出発してしばらくすると河口北側の対岸にある串山に弁天社、こちらには戎社があります。港を隔てて両社で海の安全と繁栄を祈願したのでしょう。民家を抜けて山手に行くと鉢崎観音堂、金毘羅社があります。観音堂にお参りをして中通りを行くと大きな地蔵様が鎮座して居られ、俗に「汗かき地蔵」と呼ばれています。



【金毘羅社階段下で】

浦を後にして赤崎社、栗野八幡宮、昌泉寺と参拝しました。旧栗野小を越え少し歩いたところに夫婦地蔵が祀られており、夫婦仲が悪くなつた時にお参りすれば、仲が良くなるとの言い伝えがあるそうです。滝部方面に少し行くと右側の浴に石垣が見えます。これが長府藩より代々、栗野蔵方山川奉行を仰せつけられた宗近家の屋敷跡です。天候にも恵まれ栗野歴史ウォークは無事に終わりました。



【栗野浦対岸串山の弁天社を遠望】

豊北郷土文化友の会 会員 山本芳文